



NEXT STAGE

～SKY IS THE LIMIT～

# Generating Novel Award

<教育支援が充実した子育てしやすい街へ>

発表者氏名: 武本 修汰 ・ 町上 裕城

## 現状分析

三田市が行っている現在の教育支援では、乳児や幼児の保護者や小学生を対象とした学習支援が充実しているのに対して、中学生・高校生に対する、学習支援は劣る。

## 仮説設定

三田市で大学生が運営するユーススペースを作成し教育支援を充実させることで、子育てしやすい街となり定住者が増加するのではないか。

## 現在の課題

- ①三田市には中高生が勉強できる場所はあるが、使用方法が定まっていない。
- ②中高生対象に開催されているイベントが少ない
- ③一定の集団でまとまって勉強できるスペースがない
- ④あらゆる世代の人が利用している。
- ⑤中高生をサポートできる環境を作る必要がある

## 目的



- ①三田市の定住人口を増加させ、より三田市の活性化につなげる
- ②三田市が掲げている「子育てするならゼツタイ三田」をより全国に知ってもらえるよう、新たな魅力を加える
- ③勉強以外にもキャリア教育やボランティア支援などを行うことで、将来への幅や進路を考えるきっかけをサポートし、成長のサポートをする。

## 実施方法

- ①大学生を常駐させる(週3回)
- ②ボランティア講師のマッチングを行い講演や補習等を行う
- ③キャリアについて考える
- ④ボランティア説明会の開催やその支援

## 実施するメリット

- ①キャリア学習やボランティア活動を通じて、自分たちが将来したいことを見つけることができ、より学習や活動に積極的になる。
- ②中高生が無料で学習でき、勉強時間が増加し学力向上につながる。
- ③様々な講義を通して、自分のやりたいことの発見につながり学力向上につながる。

## 結論

三田市内での学習支援施設を充実させることで街の魅力をより向上させ活性化につなげる